

平成26年9月1日

国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所

しんじょう
国道220号 新城拡幅 整備効果について
「安心して歩けるようになりました！」

1. 事業概要

- ・新城拡幅(全体延長5.8km)は、道路の拡幅及び歩道設置により、交通安全の向上・走行性の向上を図ることを目的とした事業です。
- ・平成23年度迄に延長5.4km区間の整備が完了していましたが、平成26年3月31日に残る延長0.4kmの整備が終わり、事業が完了しました。

2. 地域の皆様からの声

事業の完了に伴い、地域の皆様よりご意見を頂きましたのでお知らせします。

①交通安全の向上

- ・歩道が整備され車を気にせずに安心して歩けるようになった。

②沿道環境の改善

- ・道路がきれいに整備され、町並みもきれいになって良かった。

3. 【参考】植樹帯に花植えを実施

たるみず くぬぎばる
「垂水市柊原地区公民館」とVSP協定を締結し、7月6日に植樹帯の花植えを実施しました。参加者からは、花を植えたことで、気持ちが和らぐといった声が聞かれました。

※VSP(ボランティア・サポート・プログラム)とは地域や企業の皆さまに道路の美化清掃に協力を頂き皆さんとともに快適な道づくりを進めるものです。大隅河川国道事務所では、5団体と協定を締結。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長 ながとし 永利 しんたろう 信太郎 (内線205)調査第三課長 ぬまた 沼田 ひであき 英昭 (内線451)

電話 : 0994-65-2541 (代表)

1. 地域の皆様からの声

■通学児童の声

今回の開通に際して、柊原小学校の児童より感想文を寄せていただきましたので、主な感想をご紹介します。



- ・ 歩道が広くなって、歩きやすくなりました。車との距離も離れたので、安全になった。
- ・ 道がきれいになったので、歩きやすくなった。
- ・ 整備前は道路がでこぼこしていて車の走行時に振動がありましたが、整備後は走行時の振動がなくなった。
- ・ 国道の道がきれいになって、車で通る時とても通りやすい。町がきれいになってうれしい。

くぬぎばる

※柊原小学校児童からの感想文より(調査実施期間: H26.5)

■地域の方々の声



- ・ 以前は、歩道がなかったため車道近くを歩かなければならなかったが、歩道が整備され車を気にせず安心して歩けるようになった。
- ・ 道路もきれいに整備されたため、町並みがきれいになってよかった。
- ・ 歩道に植樹帯ができ、花を植えたことで気持ちが和らぐ。
- ・ 歩道が出来て散歩ができるようになり、地元の方々も喜んでいる。

※道路利用者への聞き取り調査(調査実施期間: H26.6~H26.7)



くぬぎばる

▲整備前の状況(柊原地区)



写真①

くぬぎばる

▲整備後の状況(柊原地区)

【参考】植樹帯への花植えを実施

「国道沿いを花いっぱいになりたい」との地元の声を受け、平成26年3月に開通した延長0.4kmを含めた1.7km区間の歩道内植樹帯における美化清掃について、7月1日に「垂水市柊原地区公民館」とVSP協定を締結しました。

7月6日には、さっそく芝桜や松葉牡丹等(約1,500株)の花の苗を植えました。



写真②

くぬぎばる

▲花植えの状況(柊原地区)

新城拡幅の事業概要

新城拡幅は、完成2車線の拡幅事業で、交通安全の向上や走行性の向上等を目的として、道路の拡幅及び歩道設置を行う事業です。

昭和58年から道路拡幅及び歩道設置の事業に着手し、平成26年3月31日に全線事業を完了しました。

これまでの経緯

昭和58年度	事業化 延長5. 8km
昭和60年度	用地着手
昭和62年度	工事着手
平成23年度まで	延長5. 4km完了(平成元年度から起点側より順次完了)
平成25年度	延長0. 4km完了で新城拡幅事業は完了しました。

